

人権啓発ビデオをお貸しします

前編

これまでの地区別人権教室で活用した人権啓発ビデオを掲載します。
どの作品も上映時間は30分程ですので、各地区やグループでの活動でビデオを視聴し、いろいろな「人権」について考えてみませんか？ご家庭にもお貸しすることができますので、ご希望の作品がありましたら教育課(電話番号:34-0212)までぜひお問い合わせください。(後編は次号に掲載します)

作品名	テーマ・内容
<p>ここから歩き始める</p> 	<p>「認知症を共に生きる」 日本における平均寿命の大幅な伸びや、少子化などを背景として、社会の高齢化が急速に進んでいます。それに伴い、認知症高齢者も大きな社会問題になっています。 認知症の親を持つ主人公と、その家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎ直しを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考える内容です。</p>
<p>あなたに伝えたいこと</p> 	<p>「インターネット時代における同和問題」 この物語の主人公は、結婚話を発端に恋人や友人、家族などとの関わりから、同和問題が身近な問題であることを知ります。ネット上の情報に左右されることなく人とふれあい、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝える内容です。</p>
<p>ヒーロー</p> 	<p>「無縁社会と家族」 近年、社会から孤立する人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。家族や地域、職場でのつながり、つまりは、血縁や地縁、社縁の希薄化によって引き起こされる問題です。 こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考えます。</p>
<p>ほんとの空</p> 	<p>「意識と人権」 誰もが、他者の排除や差別がよくないことは理解している一方で、自分や身近な人に関わる出来事には敏感に反応しても、それ以外のことは他人事のように感じたりします。また、自分や家族の生活を守るために、あるいは、誤解や偏見に気づかず、他者を排除したり傷つけたりしがちです。 すべての人権課題を自分に関わることとしてとらえ、日常の行動につなげていくようにと訴える内容です。</p>
<p>桃香の自由帳</p> 	<p>「共生社会と人権」 核家族化や都市化が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなってきました。同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除するなど、気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。 ここでは、日常の何気ない言動を振り返ることで、見失いつつある人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かを語りかける内容です。</p>
<p>クリームパン</p> 	<p>「いのちと人権」 昨今、あまりにも軽く「いのち」が扱われています。「いのち」の尊さを、子どもも若者も、もしかしたら大人も気づいていないのかもしれない。 人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に、虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを救うのもまた「人」。人と人がふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあることを訴える内容です。</p>